

平成 26 年 6 月 12 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520422

研究課題名(和文) 中国浙江省農村に生きる口承文藝 泰順と舟山の布袋木偶戯比較研究

研究課題名(英文) A Comparative Study of Rural Folk Traditions of China: Traditional Puppet Plays of the Zhoushan islands and Cangnan Prefecture

研究代表者

橋谷 英子(馬場英子)(HASHIYA(BABA), EIKO)

新潟大学・人文社会・教育科学系・教授

研究者番号：80189513

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円、(間接経費) 1,140,000円

研究成果の概要(和文)：中国浙江省舟山では一人遣い指人形芝居『月唐演義』を3日、以前と合わせて約20日分、全編のほぼ半分を録画し、また『粉粧楼』『胡奎売人頭』の段も2日で上演してもらい録画した。一方、伴奏もすべて一人で行う、より古い形式で上演される温州地区蒼南県の一人遣い指人形で、『粉粧楼』を4日20時間、『月唐演義』『李白出考』を2日10時間、泰順県でも『月唐演義』を1日上演してもらい、録画した。これらの録画記録を比較検討した結果、伴奏が別に加わる舟山では、人形は動きが細やかで上演の重要要素であるが、蒼南や泰順では棒に挿した人形を並べるだけの場面も多く、人形は補助で語りが主で、講史との関係がよりはっきりと窺えた。

研究成果の概要(英文)：I visited Cangnan prefecture, Taishun prefecture and Zhoushan islands, in China, in order to video tape the performance of the traditional hand puppet play YueTangYanYi, the life of GuoZiYi, a great general of Tang Dynasty. A puppet play in these places is played by one puppeteer alone. He manipulates puppets and narrates and plays musical instruments simultaneously. Although a puppeteer is usually focuses on his narration, he does not dedicate himself to manipulation. Puppets often stuck on the stage frame. I think it shows clearly that these puppet plays originate in the traditional narrative history in China.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：中国文学 人形芝居 口承文芸 舟山群島 浙江省蒼南県 浙江省泰順県 月唐演義 粉粧楼

### 1. 研究開始当初の背景

中華人民共和国成立当初の1950年代、農村地帯には、各地に人形芝居や影絵芝居の一座があり、伝統的演目を上演していたが、共産党政権下、伝統的演目は内容の改変を迫られ、上演も規制され、66年文化大革命勃発後は、全面的に上演禁止となった。人形芝居や影絵芝居は、文革終息後の80年代には各地で復活上演され、一時活況を呈したものの、農村の近代化、テレビの急速な普及等により、今や存亡の危機にある。非物質文化遺産保護条例施行により、政府も保護に努め始めたが、衰亡を食い止めるには至っていない。

浙江省舟山群島には、一人遣い指人形芝居がある。神への奉納として上演され、儀礼用の「天官賜福」などのほか歴史物を主に上演し、芸人たちは「歴史」を演じることを誇っている。これまでの研究で、舟山人形芝居「李三娘(白兔記)」には、金の「劉知遠諸宮調」に通じる古い内容が受け継がれていることを明らかにした。

浙江省で一人遣い指人形芝居が残る地域は、舟山群島その他、温州地区の泰順、蒼南などがある。舟山では、語り唱う人形遣い一人に2~3名の伴奏がつくが、温州地区の一人遣い指人形芝居は、伴奏までもすべて一人で行う、より古い形式である。泰順のものは、いわゆる「篇担戯」と呼ばれるもっとも素朴なもので、紙芝居を一回り大きくしたほどの、ごく簡単な舞台で演じられる。単档木偶戯と呼ばれる蒼南のものは、幅1.5m、高さ70cm程に舞台を大型化した改良型である。現在、いずれの地区も観客減少と後継者不足が深刻で、記録保全が喫緊の課題となっている。

### 2. 研究の目的

本研究は、口承で即興かつ方言で演じられるため、これまで実際の作品に即した研究がほとんどない中国の伝統的農村文芸のうち、家族祭祀や廟の祭りで神に奉納される一人遣い布袋木偶戯(指人形芝居)について、特にその上演演目、上演内容の検討を行い、現在の一人遣い布袋戯が、語り物「講史」の伝統をひくものであることを明らかにする。

共通の演目である『月唐演義』は、玄宗治下の盛唐期の歴史を、郭子儀、李白、楊貴妃等の伝説をつづり合わせ、全8集223回で描く長編英雄伝奇小説であるが、これまでほとんど研究が無く、作者も成立時期も定かではない。それぞれの上演とテキストの比較から布袋木偶戯の即興上演のメカニズムを明らかにすると同時に、この小説の成立についても検討する。

### 3. 研究の方法

共通の演目『月唐演義』『粉粧楼』をそれぞれに演じてもらい、映像記録を作成し、それぞれの上演の特徴を明らかにし、比較研究する。

『月唐演義』は、そのテキストについて、

詳細に検討する。

泰順、蒼南での本格的調査は初めてなので、民俗とのかかわり、上演の仕方についても舟山との違いに注目して調査する。

『月唐演義』は、民国期の版本は何種類か確認できるが、成立時期が更に遡るのかは不明である。中国では84年に評書『月唐演義』が115万部も出ており、人気の程が窺えるが、該書は50回までで、しかも迷信にかかわる部分は削除された略本である。8集を収める完本も各地で何度か出版されているが、図書館の蔵書にはほとんど無く、書誌学的研究もない。舟山の侯雅飛は、一日2回40日以上かけて演じる。これまでの研究で、ほぼ20日分録画したので全編録画をめざす。また泰順と蒼南の布袋木偶戯でも上演してもらおう。

『粉粧楼』は、1861年刊。唐の建国の英雄たちの子孫の話10巻80回。京劇、鼓詞などでも上演される。80年代以降、英雄伝奇小説として何度か出版されており、舟山の侯雅飛、蒼南の黄朱璜ともに、小説を読んだうえで上演しており、それぞれの上演特徴を比較した。

### 4. 研究成果

(1) 蒼南県単档木偶戯の第一人者黄朱璜に廟で『粉粧楼』『胡奎売人頭』を4日間20時間で上演してもらい、録画記録を作成した。蒼南県単档木偶戯は、浙江省の非物質文化遺産に登録されているが、録画記録は2時間余の短編のものしかなく、今回が最初の長編の記録となった。

黄さんは、舞台の大型化を始めた進取の気性に富む芸人で人形制作もする。糸操りと同様、目が動いたり、壺回しなどの曲芸をする仕掛け人形もある。舟山人形より一回り大きいので、衣装にも工夫がある。一方で、人の手に比して人形が大きいので、戦闘での細かい動きなどはできない。男女の恋のやり取りが多い点は、「漁鼓」など温州の他の語り物との関係が窺われる。胡奎が人形の頭を背負って登場するところが、見せ場になっているが、これは、皮影戯同様、人形の頭を差し替えて遣う蒼南の人形の特徴を生かした演出であり、皮影戯にも通じる演出である。人形を多数登場させる時、棒に挿して立てかけておくのは舟山も同様であるが、舟山では、どの人形のセリフかわかるように、その人形を動かす。しかし蒼南あるいは泰順では、人形はただ並べて立て掛けられるだけで、どの人形のセリフか、見ただけではわからない。出退場を始め、人形の動きに注意を払う舟山に比して、蒼南では、唱と語りが中心で、語り物の姿が残っているのではないだろうか。

初日の開演前に、廟の外で5mもある爆竹を鳴らし、最終日は温州地域の人の芝居と同様、終演後は見物に来ていた神々にお引き取り願う「掃台」を行う。戯神田公元帥が、幕間に登場し、民衆教化の伝世文を唱えるのは、舟山にはない。蒼南には、糸操りと指遣いの

二種類の人形芝居があるが、閩南語で上演するのは布袋戯(指遣い)だけで、田公元帥の登場も、福建との強いつながりを示す。

特に夜は観客が多く、5、60人近く集まり、いつの間にか売店も現れるなど、村の娯楽として、いまだ機能しうることを確認した。(資金提供がないので、この廟では、しばらく人形芝居上演はなかった、と聞いた)

(2) 中国で非物質文化遺産に関する法令が施行され、外国人は中国の研究機関との共同調査しか認められなくなったため、泰順では正式の調査は実施できなかった。手続きに手間取る間に、調査を予定していた芸人は、舞台が老朽化して壊れたのを機に、廃業してしまった。その人形を引き継いだ芸人が、地域の要請で「月唐演義」を上演するのを一段2時間見たが、観客も数名で、10分演じては休憩という熱の入らないもので、以前、2時間以上を続けて演じていたものとはすっかり様変わりしていた。非物質文化遺産として登録されていない民間芸能の困難な状況が如実に反映されているようだった。泰順では、系操りは、まだ廟や街頭で盛況を呈しているが、指遣いは衰退の一途をたどっている状況を確認した。

演出ノートを見せてもらい、写真撮影した。当人は文字が書けないため、小学校に通っていた弟に、師匠のものを筆写してもらったという。10数頁のものではあるが、篇担戯に属する「月唐演義」のテキストを確認できたのは、今後の研究の貴重な資料となる。登場人物と主な出来事が羅列してあるだけのメモであるが、登場人物の名前も方言表記で変化し、事件の前後関係や登場人物にも、かなりの混乱が見られる。

(3) 蒼南県単档木偶戯で『月唐演義』「李白出場」の一部約7時間分を陳爾白に上演してもらい、録画した。単档木偶戯の『月唐演義』には上演台本があり、呉明月が書写したものをコピーしてもらったので、ワード文書にした。陳爾白も同門で、同じ台本を見ているはずであるが、実際の上演では、台本では省略されている部分もしばしば原本通り上演している。当人は原本は持っていないので、師匠が演じたものを覚えて上演しているようである。文字テキストは、参考で、基本は記憶に基づいて上演していることがわかる。この蒼南の台本は13000字におよぶもので、完本と思われる8集『月唐演義』の全篇をほぼ網羅している。

蒼南では、粗筋はテキストで確認し、実際の上演では、出場白などは定型句を用い、小者登場部分の掛け合いの笑話は、即興で当今の話題も随時交える、という上演方法である。

舟山にも上演台本はあった、というが、侯雅飛は、すべて即興で上演するので、今回、上演用テキストを確認できたことは、成果である。

(4) 舟山では、侯家班の主演侯雅飛の夫で陰の指揮者であった顧国芳が急死された。ま

た非物質の法令施行後は、十年以上の付き合いであった侯家班の上演も日本側だけで依頼できなくなったため、当初の『月唐演義』40日全編の録画の完了計画は断念した。

「粉粧楼」については、以前、村の新年祝賀で上演したものの録画があったので、蒼南のものと比較した。舟山では「歴史」を上演するという意識が強く、辺境での戦闘場面を最初に上演し、歴史背景を明らかにしている。今回、特に「胡奎売頭」の段を侯雅飛のマンションの自室で上演してもらい、蒼南の黄朱璜の上演と比較した。(この詳細については、今年度中に整理して発表する予定である。)

(5) 中国から研究協力者の楊思好氏と華東師範大学教授陳勤建氏、また立教大学の細井尚子教授を招き、国際シンポジウムを2013年10月に新潟大学で行った。福建から温州地区への人形芝居の伝播、寧波舟山地区の民間芸能の現状などを視野に、浙江省の指遣い人形芝居の現状と今後について討論した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 件)

〔学会発表〕(計 件)

〔図書〕(計 1 件)

橋谷英子、佐渡市教育委員会社会教育課、佐渡学センター、第三回佐渡学セミナー記録集「中国の人形芝居」2014、25

〔産業財産権〕  
出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

国際シンポジウム「今も生きる伝統的人形芝居 中国浙江省の指遣い人形」開催  
日時：2013年10月14日、  
場所：新潟大学総合教育棟大会議室

講演者：橋谷英子（新潟大学人文学部）・楊  
思好（中国温州博物館）・細井尚子（立教大  
学）陳勤建（中国華東師範大学）  
コメンテーター：陳玲（新潟県立歴史博物館）

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

橋谷 英子（馬場英子）(HASHIYA EIKO)  
新潟大学人文社会・教育科学系・教授  
研究者番号：80189513

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

瀬田 充子（SETA MITSUKO）  
中央大学・非常勤講師  
研究者番号：

### (4) 研究協力者

楊 思好（YANG SIHAO）  
中国温州博物館副館長

毛 久燕（MAO JIUYAN）  
新潟大学現代社会文化研究科・後期博士課程

林 小雯（LIN XIAOWEN）  
中国温州大学人文学院民俗学専攻・修士課程